

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ） 263045-14000					担当教員	石川英樹 （イシカワ ヒデキ）		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	2	配当年次	3年次	開講期	通年
科目特性	地域志向科目／課題解決型AL／協同学修型AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>栃尾高校の生徒の皆さんと協働し、地域イベント活性化、地域の魅力発信などに取り組む。具体的な内容は、随時栃尾高校の先生方・生徒の皆さんとの打ち合わせを経て確定し取り組んでいく。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力／情報収集・分析力を育成する授業である。</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>①栃尾地域のツアー開発、②栃尾地域PRにつながる商品開発、③栃尾地域雁木通りの空き家活用策の企画と実施、にそれぞれ取り組む。内容の詳細は、地域の方々との協議などに応じて変更することがあり得る。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「ゼミナールⅠ（前）」「ゼミナールⅠ（後）」「ゼミナールⅡ」									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 地域課題解決の取組を通じた社会人基礎力を向上したことを他者に示せる。                  (ii) 地域貢献を実現し、地域の方々から評価いただける。                  (iii) 卒業後の進路を切り開く力を培い、進路選択について説明できる。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
特に指定しない。毎回レジュメを配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
必要に応じて授業中に随時紹介する。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			20%	10%	20%	30%	20%	100%
(i) 社会人基礎力を向上				5%	10%			15%
(ii) 地域貢献を実現			10%	5%		30%	20%	65%
(iii) 卒業後の進路を切り			10%		10%			20%

開く力								
フィードバックの方法	毎回の授業で、討論の成果等について講評する。ルーブリックを活用し評価を共有する。レポートは評価し返却。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）							
学生の活動進捗・授業改善提案などを確認しながら講義を進めていく。							

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	オリエンテーション	筆記用具	活動概要の検討。課題レポートの作成	60分
2	取り組み内容の確認、グルーピング	筆記用具	次週の栃尾高校との共同授業の準備	60分
3	栃尾高校との共同授業①（グループ分けと自己紹介）、雁木通り空き家活用チームの情報収集	筆記用具	次週のディスカッション準備	60分
4	栃尾高校との共同授業②（栃尾地域資源のアイデア出し）、雁木通り現状の情報収集の続き、	筆記用具	栃尾地域の様々な資源について情報収集、ふりかえりレポート作成	60分
5	商品開発、ツアープラン、空き家活用策の企画のアイデア出し	筆記用具	PR すべき栃尾地域の地域資源の検討、空き家活用策関連の情報収集	60分
6	商品開発、ツアープラン、空き家活用策のアイデア出しの続きと整理	筆記用具	PR すべき栃尾地域の地域資源の検討、空き家活用策関連の情報収集	60分
7	栃尾高校との共同授業③（商品開発／ツアーチーム別打ち合わせ）、雁木通りチームの打ち合わせ	筆記用具	ディスカッションふりかえりレポートの作成、次週のための情報収集と整理	60分
8	商品開発・ツアープランの企画の案作り、雁木通り空き家活用策の企画案作成	筆記用具	関連情報の整理、案のフローチャート作業	60分
9	栃尾高校との共同授業④（商品開発／ツアーチーム別案づくり議論）、雁木通りチームの企画案取りまとめ	筆記用具	ディスカッションふりかえりレポートの作成、案のフローチャート作業	60分

10	チーム別の企画案の作成	筆記用具	関連情報の整理、案のフローチャート作業	60分
11	栃尾高校との共同授業⑤（商品開発／ツアーチーム別素案完成と発表）、雁木通りチームの素案完成と発表	筆記用具	素案の振り返りと詳細についての詰め	60分
12	チーム別の企画案の詳細検討	筆記用具	関連情報の整理、案のフローチャート作業	60分
13	チーム別の企画案の詳細検討結果の報告と議論	筆記用具	中間報告の作成	60分
14	イベント参加の計画づくり、雁木通りチームの提案書概要議論	筆記用具	中間報告の作成	60分
15	イベント参加の計画づくり、雁木通りチームの提案書作成作業	筆記用具	中間報告の作成	60分
16	イベントのふりかえり・バスツアー案の完成、雁木通りチーム提案書の実行プラン検討	筆記用具	商品開発・販売、バスツアー案の完成、雁木通り空き家活用案の改善点検討	60分
17	中間報告会の準備	筆記用具	中間報告の資料・原稿作成	120分
18	中間報告会の実施	筆記用具	中間報告のふりかえりレポート作成	60分
19	栃尾高校学園祭等への参加準備、ツアーPR 活動の検討、雁木通りチームの行政等との議論	筆記用具	学園祭等参加の準備作業、ツアーPR 資料の作成、雁木通りチームの提案書確認	60分
20	栃尾高校学園祭等のふりかえりと悠久祭参加準備、ツアーPR と参加者募集策の検討、雁木通り空き家活用プランの実行資料作成	筆記用具	悠久祭の準備作業、ツアーPR 雁木通りチームの実行資料案の作成	60分
21	悠久祭ふりかえり、ツアー実施の準備、雁木通り空き家活用策の実行資料の詰め	筆記用具	悠久祭ふりかえりレポート作成、ツアー実施準備作業、雁木通りチームの実行資料案の改善検討	60分
22	バスツアー実施（商品開発チーム、雁木通りチームとの協働）	筆記用具	バスツアーのふりかえりレポート作成、商品化改善の課題整理、雁木通りチームの実行資料案の改善検	60分

			討	
23	バスツアー（試行版）の振り返り、商品開発・販売の振り返り	筆記用具	成果発表会のためのポイント整理	60分
24	成果発表会の準備～発表内容の打ち合わせ	筆記用具	プレゼンテーション資料の作成作業	60分
25	成果発表会の準備～発表資料類の調整	筆記用具	プレゼンテーション資料の完成と発表原稿の作成	60分
26	成果発表会の準備の仕上げ	筆記用具	発表原稿の完成と発表の練習	60分
27	成果発表会のふりかえり、次年度の課題の抽出	筆記用具	報告書原稿の執筆	60分
28	成果報告書原稿作成～個人別作業	筆記用具	報告書原稿の執筆	60分
29	成果報告書原稿作成～チーム別作業	筆記用具	報告書原稿の執筆	60分
30	次年度計画の作成、成果報告書原稿作成～全体での調整	筆記用具	次年度計画書と報告書の原稿完成	60分

⑪ アクティブラーニングについて
課題解決型 AL 及び協同学修型 AL を採用する。共同でフィールドワークを実施し、社会人基礎力を培っていく。年度後半に、成果報告会での発表と成果報告書の作成を共同で行う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性